

経済学部における授業評価

(「授業評価ワークショップ」2007年11月26日)

経済学部FD委員会
学部教育改善WG主任
岩本 武和

1

経済学部FD委員会の構成

- FD委員会(委員長は研究科長)を親委員会として、以下の5つのWGから構成
- 大学院教育改善WG 4名
- **学部教育改善WG(→授業評価の実施主体) 4名**
- 教員評価WG 4名
- 財務・事務改革改善WG 4名
- 点検評価WG 5名
- 「研究科長(委員長)、副研究科長、各WG主任、教科主任、事務長、総務係長、会計掛長、教務係長」を出席者として、第2木曜日教授会後に定例のFD委員会を開催。

2

過去3回の授業評価

	第1回目	第2回目	第3回目*
実施時期	平成16年度後期	平成17年度前期	平成18年度前期
実施主体	評価企画委員会	(旧)FD委員会	学部教育改善WG
集計・分析	外部委託**+ 評価企画委員会	(旧)FD委員会	外部委託**

平成17年度後期については、全教員による授業評価は行われず、原則として過去2回の授業評価で一度も行っていない教員によって、同じアンケート用紙を用いた自発的な授業評価が行われた。

* 31科目について実施、総数で2,023の回答

** (株)教育ソフトウェア (<http://www.kyoikusw.com/>)

3

経済学部授業科目

〔入門科目〕 1・2回生のみ配当	〔専門科目1〕 2回生以上配当
ミクロ経済学入門、マクロ経済学入門、社会経済学入門、基礎統計学、経済史・思想史入門、現代経済事情、経営学入門、会計学入門、情報処理入門	経済数学1、経済数学2、社会思想史、経済学史、日本経済史、欧米経済史、日本経済論、公共経済学、資料経済論、国際金融論、国際経済学、工業経済論、社会政策論、労働経済論、職業経済論、労働政策論、金融政策、ファイナンス工学、証券投資論、派生証券論、保険論、経営史、組織経済論、比較経営論、国際経営史、11ゼミナール論、ネットワーク経済論、情報経済論、管理会計、情報処理論1、情報処理論2
〔専門基礎科目〕 2回生以上配当	〔専門科目2〕 3回生以上配当
ミクロ経済学1、ミクロ経済学2、マクロ経済学1、マクロ経済学2、社会経済学1、社会経済学2、経済史1、経済史2、計量経済学、経済統計学、経済政策論1、経済政策論2、財政学、金融論、経営学原理、経営戦略、経営論1、経営論2、マーケティング1、マーケティング2、経営財務、会計学1、会計学2	社会経済変動論、経済哲学、意思決定論、計量理論、経営情報論、アジア経済史、ヨーロッパ経済論、経済統合論、比較経済システム論、市場経済移行論、地域産業論、地域開発論、租税論、公共政策論、地方財政論、財政政策論、金融リスク論、サービス経済論、医療経済学、交通経済論、情報・通信産業論、現代経済思想、企業論議論、市場構造と企業戦略、産業・企業成長論、東アジア経済論、現在日本産業論、人的資源管理論、オペレーション・マネジメント、都市経済学、組織調査論、非営利組織経営論、マーケティング・リサーチ、会計監査論、経営分析論、経営計算論、国際会計論、国際経営論、事業開発

4

授業評価アンケート実施要領

1. 実施期間

- 原則として、定期試験前の2週間。

2. 実施担当者

- 原則として、各教員が採用しているTA。
- 例外として、直接または間接に指導している院生、あるいは(当該科目を受講していない)学部ゼミ生等)

3. 実施当日の作業

- 授業評価を実施する授業開始前に、授業担当者(あるいは実施担当TA等)が、所定の場所に立ち寄り、評価シートと回収用封筒を受け取る。
- アンケートは授業の最後に、15分程度。
- 担当教員は、学生の記入が始まれば、教室から退出。担当教員はタッチせず、TAあるいはそれに準ずる院生が実施する。
- 授業評価アンケートの実施そのものには、等に、次の職務を行うよう指示して下さい。
 - アンケート用紙をもれなく回収して封筒に入れる。
 - 封筒(および余った評価シート)を大会議室の所定の場所まで運搬する。
 - ガムテープで封筒を密封し、表紙に「科目名・担当教員・実施日時」を記入する。

5

授業評価アンケート実施後の作業

- 集計結果(所属別、回生別、男女別、出席度別、および読み取り素データ)
- 授業担当教員への配布: 自分の授業の集計結果(5段階評価の分布、平均値および標準偏差)および自由記述欄(5段階評価を記入する欄と切り離されて配布)
- 学部教育改善WGによる分析・公表

6

アンケート内容

1. (出席状況) 授業にはほとんど出席し、積極的に参加した。
2. (自主的学習) この授業科目のために自主的に学習した。
3. (明解さ) この授業はわかりやすかった。
4. (体系性) 授業内容は体系的であり、よくまとまっていた。
5. (知的魅力) この授業は知的に魅力(面白さ)のあるものであった。
6. (有益度) この授業は自分の学習にとって有益だった。
7. (理解度への配慮) 学生の理解度や反応に配慮した授業の進め方がなされていた。
8. (自発的学習の促進) 自発的に学習・探求するための指針や助言をこの授業で得ることができた。
9. (教員の熱意) 授業に対する教員の熱意を感じた。

7

経済学部生の授業評価結果

	Q1 出席状況	Q2 自主的学習	Q3 明解さ	Q4 体系性	Q5 知的魅力	Q6 有益度	Q7 配慮	Q8 促進	Q9 熱意
経済学部生(1433)	3.99	2.77	3.76	3.77	3.86	3.84	3.48	3.21	3.90
出席良好者(1961)	4.37	2.87	3.88	3.86	3.95	3.95	3.57	3.90	3.98

8

全回答相関係数表

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
Q1 出席状況	1.000								
Q2 自主的学習	0.236	1.000							
Q3 明解さ	0.320	0.321	1.000						
Q4 体系性	0.250	0.314	0.694	1.000					
Q5 知的魅力	0.303	0.306	0.661	0.557	1.000				
Q6 有益度	0.349	0.387	0.620	0.532	0.757	1.000			
Q7 配慮	0.259	0.302	0.608	0.577	0.497	0.511	1.000		
Q8 促進	0.258	0.450	0.495	0.462	0.536	0.571	0.535	1.000	
Q9 熱意	0.256	0.214	0.406	0.394	0.431	0.401	0.447	0.457	1.000

9

回生別評価平均値

	Q1 出席状況	Q2 自主的学習	Q3 明解さ	Q4 体系性	Q5 知的魅力	Q6 有益度	Q7 配慮	Q8 促進	Q9 熱意
1回生(355)	4.34	2.35	3.78	3.67	3.83	3.84	3.38	3.05	3.64
2回生(534)	3.97	2.78	3.75	3.80	3.86	3.83	3.46	3.21	3.94
3回生(612)	3.89	2.92	3.73	3.74	3.83	3.81	3.46	3.29	3.98
4回生(279)	3.83	2.84	3.86	3.84	4.03	4.04	3.61	3.28	4.11
5回生以上(178)	3.92	2.77	3.84	3.85	3.82	3.89	3.46	3.29	3.89

10

男女別評価平均値

	Q1 出席状況	Q2 自主的学習	Q3 明解さ	Q4 体系性	Q5 知的魅力	Q6 有益度	Q7 配慮	Q8 促進	Q9 熱意
男子学生(1495回答)	3.95	2.75	3.75	3.72	3.83	3.82	3.44	3.17	3.87
女子学生(375回答)	4.16	2.84	3.91	3.92	4.03	4.05	3.62	3.42	4.15

11

授業種別評価平均値

	Q1 出席状況	Q2 自主的学習	Q3 明解さ	Q4 体系性	Q5 知的魅力	Q6 有益度	Q7 配慮	Q8 促進	Q9 熱意
入門科目(409)	4.27	2.34	3.79	3.70	3.85	3.84	3.39	3.08	3.65
基礎科目(916)	3.85	2.93	3.73	3.70	3.81	3.86	3.39	3.23	3.92
専門科目Ⅰ(356)	3.97	2.73	3.70	3.76	3.85	3.76	3.58	3.19	4.10
専門科目Ⅱ(283)	4.04	2.90	3.96	3.98	4.04	3.95	3.68	3.42	4.02
特殊科目(59)	3.86	3.14	3.68	3.82	4.05	4.15	3.68	3.71	4.29
法学科目(0)									

12